

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立本木小学校 校長 藤田 曉美

## 1 学校教育目標

- ① かしこい子：自ら問いをもち、見通しをもって学び続ける子
- ② 思いやりのある子：自分や友達よさを認め合い、励まし合い、高め合える子
- ③ たくましい子：夢に向かってしなやかにたくましく挑戦し続ける子

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10,969冊（蔵書基準冊数 9,160冊）／蔵書率 119.7%									
	② 新規購入図書 585冊／廃棄図書 1,795冊／増減冊数 -1,210冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.8%	0.8%	5.2%	7.7%	11%	3.6%	2.6%	6.8%	3.3%	56.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：開館時間：9：00～15：45									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 45.1冊（前々年度末：43冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75.9%（前々年度末：69.2%）									

## （令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,003冊（蔵書基準冊数 9,160冊）／蔵書率 120%									
	② 新規購入図書 650冊／廃棄図書 623冊／増減冊数 34冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	1%	6%	8%	11%	4%	3%	7%	3%	55%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：00～15：45（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 41.6冊（前年度末：45.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 65%（前年度末：75.9%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を使う授業を行い、本を手取る機会を増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書する経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス週1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上

目標達成状況
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり60冊の読書にとどまった。 ③ 学校図書館オリエンテーションを各クラスで行うことができた。 ④ 調べる学習コンクールの参加は10%にとどまった。

<b>第2学年</b>	① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり50冊の読書にとどまった。 ③ 調べる学習コンクールに100%の児童が参加することができた。	
<b>第3学年</b>	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味のある本だけでなく、野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、様々な本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり70冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり35冊の読書にとどまった。 ③ 調べる学習コンクールに100%の児童が参加することができた。	
<b>第4学年</b>	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり70冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり30冊の読書にとどまった。 ③ 調べる学習コンクールに95%の児童が参加することができた。	
<b>第5学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>

① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上

<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。	
② 年間を通して一人あたり30冊の読書にとどまった。	
③ 調べる学習コンクールに100%の児童が参加することができた。	

<b>第6学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 複数の情報を効果的に活用してまとめ、説明することができる。	② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上

<b>目標達成状況</b>	
① 各クラス月2回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。	
② 年間を通して一人あたり20冊の読書にとどまった。	
③ 調べる学習コンクールに95%の児童が参加することができた。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れについて、当初の想定よりも遅れてしまったが1月には完了した。 ② 調べる学習の充実を図るための選書を行うことができた。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べる学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	① 学校図書館オリエンテーションの実施や読み聞かせ、ポップの展示等に支援員と協力して取り組めた。 ② 調べる学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について支援員への相談や情報交換を行い、学習資料を適切に準備することができた。 ③ 図書ボランティアが毎週活動を行い、月1度の読み聞かせや蔵書の補修などで連携することができた。
<b>【その他】</b> ① あだち読書通帳を学年をまたぎ継続して使用し、児童の読書記録として活用していく。また、区立図書館と連携しながら児童の読書活動を推進していく。	① あだち読書通帳を継続して使用し、児童の今までの読書量の見える化を図ることができた。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

今年度は、昨年度に比べて一人当たりの読書冊数が減少した。休み時間の図書室利用者が少なかったため、11月には新刊図書を中心に、各学年の廊下へ本を置いておく「出張図書館」を実施した。また、児童の手の届きやすい位置に図書を配置できるように配架修正を行い、児童が図書を手に取りやすくすることができた。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

今年度は昨年度よりもボランティアの人数が増え、充実した活動を行うことができた。月に一度の読み聞かせや児童のおすすめの本を紹介する掲示などを作成するなど、精力的に活動した。（図書ボランティア）